

下都賀管内水稲技術資料

令和8年7月2日
下都賀農業振興事務所

重点ポイント

- ① 早植えは間断かん水を継続しましょう！
- ② 普通植えは莖数が確保されたら、間断かん水へ！
- ③ 出穂期は水を切らさないように！
- ④ 不稔予防に出穂期防除は必ず行いましょう！

1 気象の経過

- ・5月は前年と比べて気温が高く、少雨多照となりました。6月は前年と比べて気温が低く、多雨となりました。
- ・関東地方は6月7日に梅雨入りをしました（平年並、前年より16日遅い）。

表1 小山市アメダス

5月	5月上旬(5/1-10)		5月中旬(5/11-20)		5月下旬(5/21-31)	
	本年値	前年差・比	本年値	前年差・比	本年値	前年差・比
平均気温	18.2℃	+1.6℃	20.2℃	+0.3℃	20.9℃	+2.2℃
降水量	72mm	67%	2mm	3%	20mm	47%
日照時間	63 時間	100%	104 時間	194%	64 時間	194%

6月	6月上旬(6/1-10)		6月中旬(6/11-20)		6月下旬(6/25-30)	
	本年値	前年差・比	本年値	前年差・比	本年値	前年差・比
平均気温	20.3℃	-1.0℃	21.9℃	-2.9℃	22.3℃	-4.8℃
降水量	133mm	273%	79mm	111%	99mm	291%
日照時間	28 時間	57%	56 時間	110%	25 時間	38%

2 気象庁の1か月予報（7月2日発表）

- ・平均気温は高い確率 50%です。

気温、降水量、日照時間の各階級の確率 (%)			
気温	関東甲信地方	向こう1か月 07/04~08/03	10 (低い) 40 (平年並) 50 (高い)
		1週目 07/04~07/10	20 (低い) 50 (平年並) 30 (高い)
		2週目 07/11~07/17	10 (低い) 40 (平年並) 50 (高い)
		3~4週目 07/18~07/31	10 (低い) 40 (平年並) 50 (高い)
降水量	関東甲信地方	向こう1か月 07/04~08/03	40 (低い) 40 (平年並) 20 (高い)
		日照時間	関東甲信地方

■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

3 早植・水稻生育診断ほ（6月22日調査）の生育調査結果

- 昨年の小山市鏡で調査した結果と比べ、**草丈は低く、茎数は多くなりました。**
- 葉色は同程度であり、**葉齢は進んでいます。**

表2 水稻生育診断ほ（小山市生井）の生育調査結果

品種：コシヒカリ 移植日：5月2日（R8） 5月3日（R7）	R 8 （小山市生井）	R 7 （小山市鏡）
草丈(cm)	60.0	70.5
茎数(本/m ²)	789	603
葉 齢	11.0	10.2
葉色(葉色板)	3.9	4.1
生育診断値(葉色×茎数)	3,077	2,447



写真1 生育の様子（6月22日撮影）

4 早植（分施）・生育診断指標値（10,000÷株間÷30×茎数（本）×葉色）

- 下記の生育診断指標値に基づいた栽培管理を行きましょう。

コシヒカリ 22株/m ²	葉色	茎数（本/m ² ）	葉色×茎数 （生育診断指標値）
移植後30日	4.9~5.1	460~520	2,300~2,700
最高分けつ期	4.2~4.4	570~600	2,400~2,700
出穂前30日	3.9~4.2	520~560	2,000~2,400
出穂前15日	3.6~4.0	450~480	1,600~1,950

とちぎの星 22株/m ²	葉色	茎数（本/m ² ）	葉色×茎数 （生育診断指標値）
最高分けつ期	4.2~4.4	680~700	2,800~3,000
追肥前	3.6	460~480	1,600~1,800

※ 葉色は葉色カラスケール（葉色板）（1：淡い～7：濃い）で完全展開最上位葉を測定

- ① 指標値を上回っている場合
 - 中干し：程度を強めるか、中干しの期間を長くする。
 - 追肥： 減肥または追肥を行わない。
- ② 指標値を下回っている場合
 - 中干し：行わない（間断かん水の継続）
 - 追肥：時期を出穂前20日頃に早めるか、追肥窒素量を増やす。



写真2 葉色カラスケール（葉色板）

葉色板を活用しましょう！



5 普通植・水稻生育診断ほ（6月22日調査）の生育調査結果

- ・昨年と比べ、草丈はやや低く、茎数は少なくなりました。
- ・葉色はやや濃く、葉齢は同程度でした。

表3 水稻生育診断ほ（栃木市皆川）の生育調査結果

品種：とちぎの星 移植日：5月23日	R8 (栃木市皆川)	R7 (栃木市皆川)
草丈(cm)	35.4	36.5
茎数(本/㎡)	340	388
葉齢	7.9	7.7
葉色(葉色板)	4.3	4.0
生育診断値(葉色×茎数)	1,466	1,539



写真3 生育の様子（6月22日撮影）

6 普通植・生育診断指標値（10,000÷株間÷30×茎数（本）×葉色）

- ・下記の生育診断指標値に基づいた栽培管理を行いましょう。

とちぎの星 22株/㎡	葉色	茎数（本/㎡）	葉色×茎数 (生育診断指標値)
最高分けつ期 追肥前	4.5~4.7 3.5	520~540 450~470	2,500~2,700 1,600~1,800

※ 葉色は葉色カラースケール（葉色板）（1：淡い～7：濃い）で完全展開最上位葉を測定

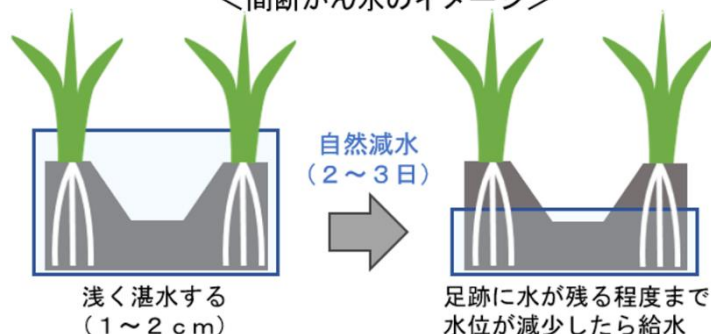
- ① 指標値を上回っている場合
 - ・中干し：程度を強めるか、中干しの期間を長くする。
 - ・追肥： 減肥または追肥を行わない。
- ② 指標値を下回っている場合
 - ・中干し：行わない（間断かん水の継続）
 - ・追肥：時期を出穂前20日頃に早めるか、追肥窒素量を増やす。

7 栽培管理

◎水管理

- ・茎数の少ない場合は夜間かん水、日中は浅水管理を行い、茎数を早期に確保しましょう。必要茎数（コシヒカリ、とちぎの星：20本/株）が確保されたら間断かん水に移行し、根の活力向上に努め葉色の低下を防ぎましょう。
- ・出穂期は最も水を必要とする時期です。不足しないように注意しましょう。
- ・早期落水は絶対に行わないようにしましょう。（落水時期：出穂30日後以降）

<間断かん水のイメージ>



◎追肥（分施）

- 追肥時期の目安は、「コシヒカリ」出穂15日前（幼穂長2cm）、
「とちぎの星」出穂18日前（幼穂長8mm）です。
- 緩効性肥料N3kg/10a程度を追肥しましょう。



写真4 幼穂5mm

（出穂20日前）

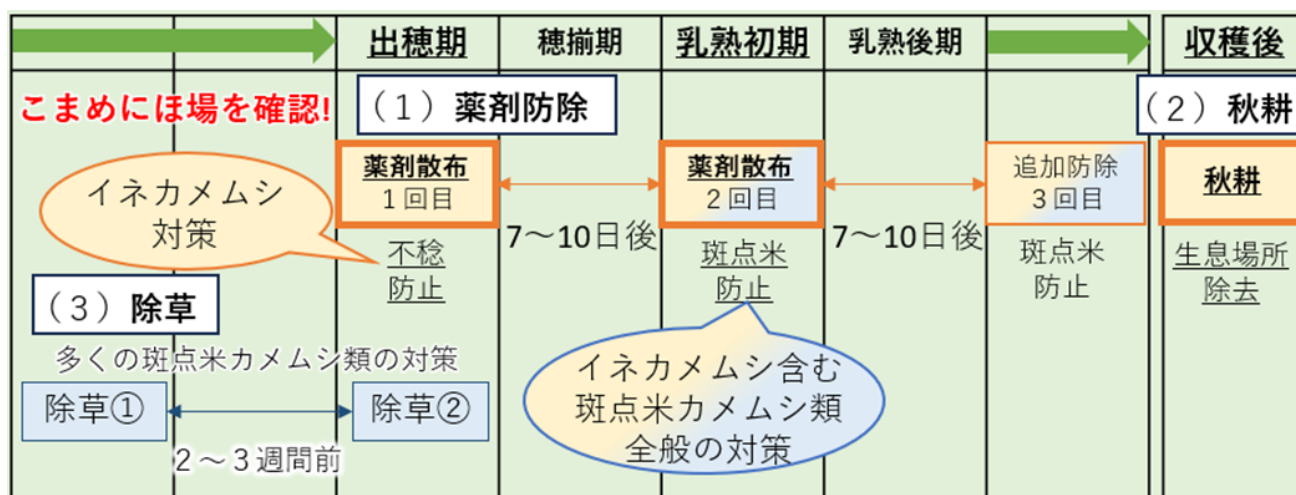
◎高温対策

- 出穂後20日の平均気温が27℃を超える高温年の場合、
出穂期から穂揃期の葉色が淡い場合は白未熟粒が発生しやすくなります。
- 品質を低下させないために、走り穂が出る頃の止葉葉色が、葉色板で3を下回ってれば、速効性の窒素肥料で2kg/10a程度の追肥を行いましょう。

◎カメムシ対策

- 不稔予防には出穂期防除が重要です。

※出穂期：4～5割の穂が出た時期



栃木県農業防災LINEで
情報配信をしています！
友だち登録をお願いします

LINE ID
@756bxcgu



7月～8月は「農作業中の熱中症による死亡事故」が集中します。
「自分だけは大丈夫」と思わないで、こまめな休息、水分補給を！

問い合わせ先

栃木県下都賀農業振興事務所 経営普及部 農畜産課 0282-24-1101
HP <http://www.pref.tochigi.lg.jp/g54/index.html>